

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2023 年 4 月 20 日開催分)

開催年月日 : 2023 年 4 月 20 日(木) 11:00~13:00

開催場所 : 株式会社 WOWOW プラス 会議室

委員の出席 : 番組審議員 6 名 / 書類審査 1 名

WOWOW プラス 9 名

出席者

[審 議 員] 青木眞弥、池ノ辺直子、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 大熊和彦、廣田敦、宮澤辰之、富田純代、青木昭、原田俊英
森平伸雄、山下泰司 (記録撮影)、渋谷明子(書記)

書類審査

[審 議 員] 音好宏

- 議 題 :
- (1) 民放連放送基準改正についての諮問答申
 - (2) 2023 年 1 月~3 月の WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘
・意見について
 - (3) WOWOW プラスの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 「日本民間放送連盟 放送基準」の改正について

「日本民間放送連盟 放送基準」が 2023 年 4 月に改正されたことに伴う、当社の番組基準(親会社である株WOWOW に準じた)の改定について番組審議会に諮問を行い、改定への同意を得た。(当日欠席・書類審査での参加となった審議員には、事前に諮問し、同意を得た。)

「2023 年 1 月~3 月の WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について」

当社コンテンツプロデュース局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項 : [審議番組]

『帯広ガストロノミー 帯広市開拓 140 年 市制施行 90 年記念長編作品』

<番組概要>

本作は、地方都市が大きな夢をかなえようとする「地方創生」をテーマに、帯広市開拓 140 周年、市制 90 周年を機とした「帯広市」を発信源にした日本を元気にするプロジェクトとして制作。

2 月 23 日(木)より帯広市内にて劇場公開され、続いて 3 月に WOWOW プラスで放送した。

審議内容： ■審議員意見

- ・地方発映画は玉石混濁で、地元と関係ない人がみるとつまらないものもあるが、「作品」として見られた。地元の人が多く出てきても、ストーリーに上手く組み込まれており自然で、良心的な仕上がりになっていた。地元で劇場公開したのも良かった。
- ・プロジェクトの規模、取り組みはすばらしい。帯広・十勝の映画的な大きな景色に対して、室内にはいと飾り込みが足りなかった。キャストにもう少し華があってもよいのではないかと思う。「無いものがあれば作ればよい」という地元の方の言葉は、キーワードとしてうまく機能していた。
- ・ドラマ制作に挑戦したことをまず評価したい。放送ビジネスにおけるB to Gの可能性が注目されるなかで、この手のドラマ制作要請は増えてくる可能性がある。そのようなトレンドを掴む意味でも、脚本力の強化が肝要と感じた。
- ・明確な意図をもって制作したことが素晴らしい。父と子の関係、有名シェフの描き方が浅く感じた。自然の大地から生まれてくるような歌、音楽が背景としてあれば、言葉が無くても音楽が語ってくれることはあるのではないかなと思った。
- ・料理がおいしそうで、行ってみたいと思った。商業映画ではない、老若男女が見るものとして、ストーリーもよくできている。こういう形で地方を応援して、映像化することは良いので、今後も作っていつてもらいたい。
- ・映画作品としてきちんと見られる作品になっている。帯広だけでなく、他の地方でも劇場公開して欲しい。このような映画は本作の107分位がちょうど良いと思う。良い尺でまとめている。今回のような製作委員会の座組、予算、尺の作品をパッケージ化していくプロジェクトを続けていくことは必要。
- ・「ガストロノミー」という言葉は一般的ではないので、言葉の意味をはっきり伝えて欲しかった。どのように映画を展開し、感動、ストーリー展開を視聴者・観客に見せるのかは重要。

連絡事項： 次回番組審議会は、2023年7月20日（木）11時より開催予定。

以上